

令和3年度第1回「四日市羽津医療センター地域協議会」事蹟書

【日時】 令和3年7月21日（水）

【場所】 書面開催

【出席者】 中嶋一樹（四日市医師会副会長）、柴田英治（四日市看護医療大学 学長）、河合信哉（四日市市保健所長）、清水則康（四日市市北消防署署長）、中村克義（四日市市自治会連合会会長）、内田寛（羽津地区連合自治会会長）、羽場誓司（海蔵地区連合自治会会長）、山内満（橋北地区連合自治会会長）、渡辺文一（富田地区連合自治会会長）、藤田信男（富洲原地区連合自治会会長）、渡邊重信（大矢知地区連合自治会会長）、徳山直子（三重県乳腺患者友の会）

以下 当院スタッフ 住田安弘（院長）、渥美伸一郎（副院長）、北川達士（副院長）、高司智史（副院長）澤田豪人（事務部長）、中島範子（看護部長）、中島佐知子（地域連携室看護師長）、東川亜依子（訪問看護ステーション副看護師長）、森田幹治（総務企画課長）、越川健太郎（医事課長）、位田浩（健康管理センター管理課長）、中川佳代（介護老人保健施設管理係長）、酒井克嗣（経営企画係長）

【内容】

（病院より）

- ・地域協議会委員名簿
- ・令和2年度現況報告
- ・令和3年度度新任医師の紹介
- ・当院の新型コロナウイルス対応状況及び新型コロナワクチンの対応状況

【意見等】

（医師会委員より）

意見 : コロナ禍の中、逆紹介率も令和元年度と令和2年度と比較すると上げていただきありがとうございます。

ホームページでの情報提供量も他院より多く、医師の写真公開も多く申し分ありません。

より一層、今後もよろしく申し上げます。

回答 : 逆紹介率の向上については、地域の医療機関との連携を強化し、引き続き取り組んでまいります。また、ホームページについても、医師の紹介をはじめ、できるだけ最新の情報を発信できるよう取り組んでいきますので今後ともご指導よろしく申し上げます。

（学識経験者委員より）

意見 : 新型コロナウイルス感染拡大に伴う受診控えによる影響はみられますが、今年度は外来患者、入院数、検査数等は堅調に推移しているようです。

紹介、逆紹介も活発に行われ、病診連携をはじめとする地域医療の第一線医療機関としての役割も十分に果たされていると思います。

一方、新型コロナウイルス感染患者も県内の新規感染者数に応じた受入をされています。まだ、収束の見通しが立たない中で今後も場合によっては通常医療を圧迫する事態になる恐れもありますが、これまでの経験を活かして対応されることを期待しています。

地域医療の範囲から少し離れるかも知れませんが、健診事業、介護老人保健施設、在宅介護支援センター、訪問看護ステーションの活動についてもご報告いただける機会もあるとよろしいのではないかと思います。

回答 : 新型コロナウイルス感染症への対応については、昨今の新規感染者増加の影響を受け、入院患者の受け入れ数をこれまでの 8 名から 11 名に変更したところです。今後も当院では保健所依頼の PCR 検査の協力、三重県および四日市市からのワクチン集団接種への協力など、行政と連携しながら取り組んでいきます。

健診事業等の報告については、次回の地域協議会にて計画します。

(行政委員より)

意見 : この度は特定行為指示要請専用回線を設置していただき、誠にありがとうございます。

また傷病者の収容他、事後検証委員会など救急業務に関してご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて救急現場におきましては、傷病者の病院収容までの時間短縮に努めているところであります。

そこで収容依頼のお願いです。

現在収容依頼は、受付を通じて医師への情報提供を行っており、収容の可否が決定するまで時間を要します。

特定行為指示要請専用回線の収容依頼への活用など、収容依頼時の時間短縮について何かご検討いただけると幸いです。

回答 : この 7 月から運用を開始しました特定行為指示要請専用回線（救急患者を受け付けた後に救急隊から医師に直接指示を仰ぐ回線）については、今後、事例の検証を行い課題があれば改善を図っていく所存です。収容依頼時の時間短縮に関しては、特定行為指示要請専用回線の活用など、当院の救急検討委員会で検討してみます。

(患者代表委員より)

意見 : コロナ禍に於いての皆々様の御活躍に心より御礼申し上げます。御多忙の中、資料の御送付ありがとうございました。

医療機関の患者数減少、コロナ対応労力の増加には、ニュースを見るたびに病院運営の大変さを思い、心を痛めております。

我々患者会も「集まる」という形を変えて、ZOOM や LINE の最大活用にて励まし合いの場を作っていますが、やはり人間は直接会うという質感が必要と感じているところです。

医療の皆様が傍らにいて下さることの安心感が患者には何よりの薬です。ご自愛の上のご活躍を何とぞお願い申し上げます。

回答 : 新型コロナウイルス感染症への対応にはスピードが求められていますので、当院では日々の情報収集に努め、小規模のワーキングを頻繁に開催し課題への対応にあたっています。そして、コロナ禍に於いても患者さんや地域住民の方々が安心して医療を受けられるよう取り組んでいきます。そして、おっしゃられるように「集まる」ということに関しては、当院においても難しく、市民公開講座や介護教室などを開催することができません。四日市市や三重県の感染症対応指針などを参考にして多くの方にご参加いただける機会が早くつくれることを願っています。